

あとがき

現在、梅雨の合間に見える青空を見ながら拙文をしたためておりますが、本号が皆様の眼に触れるのは、夏真っ盛りという頃かと思います。気象庁によると今年の夏の暑さは平年並みとのことですが、実際のところはいかがでしょうか。その暑さも落ち着くであろう9月には、東京医科歯科大学教授大野京子会長のもとで、国際近視学会が開催されます。世界中の近視研究者が一堂に会する学会になります。これを機会に、わが国でも近視についての理解が広く進むことを期待します。

さて、本号の「今月の話題」は、平岡孝浩先生による「近視進行抑制について」です。現在の近視研究について、非常にわかりやすく解説されています。国際近視学会の開催時期に合わせたわけではないですが、時宜を得た企画ではないでしょうか。私が大学生であった1980年代には、近視は病気ではないという言説や、甚だしいものでは日本人は眼鏡をかけることを厭わないので、むしろ近視は生活に有利であるという説を聞かされることも少なくありませんでした。しかし、近視はわが国の中途失明原因の上位を占めるようになりましたし、世界中で近視の罹患率が急速に高まっていることを考えると、これからの30年は近視を克服することが、眼科に課せられた大きな課題だと考えます。眼科専門誌『RETINA』の編集長Bruker先生も同じ意見で、これからの大きな課題は近視であると言われたことを思い出します。

しかし、私は楽観しております。思えば1990年代半ば、抗VEGF薬が世に出る以前、これからは血管新生性眼疾患を克服することが、眼科の大きな課題であると言われておりました。当時はそう簡単には解決できないとされていましたが、失明を待つばかりであった加齢黄斑変性に治療ができる現在では、ある程度の問題解決をみていると言えるのではないのでしょうか。

「今月の話題」を読まれて、多くの先生が近視研究の進歩について理解し、特に若い先生が新しい近視治療法の研究に興味を持たれば幸甚です。(坂本泰二)

編集顧問	清水弘一	馬嶋昭生	増田寛次郎	大野重昭	玉井 信	三宅養三	西田輝夫
	水流忠彦	根木 昭	下村嘉一				
編集委員	寺崎浩子	中澤 満	坂本泰二	鈴木康之	稲谷 大	井上幸次	

臨床眼科 (第73巻 第8号)

2019年8月15日発行 (毎月1回15日発行)

定価: 本体 2,800 円+税

(2019 年年間購読料 (増刊号を含む 13 冊, 送料弊社負担))
冊子版 40,140 円+税
電子版 (個人) 40,140 円+税
冊子+電子版 (個人) 45,140 円+税

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株) 文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2019, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。
- ・ 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・ **JCOPY** < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。
- ・ 「臨床眼科」は株式会社医学書院の登録商標です。

担当 山本・松井・安部